

令和6年度教職大学院科目等履修生出願可能科目表

令和6年2月6日修正点箇所を赤字

科目等履修生希望の方は、以下の注意事項を必ず読んでください。

・本学教職大学院で開設している授業科目のうち、科目等履修生を受け入れている科目を「科目等履修生出願可能科目表」に掲載しています。掲載のない科目は出願できません。

・「科目等履修生出願可能科目表」は、毎年度更新されます。また、科目開講学期、開講曜日・時限、担当教員等は年度途中で変更となる場合がありますので、出願前にもう一度内容をご確認のうえ、出願してください。

・「免許対応校種(教科等)」欄は、一種免許状を専修免許状に上進する際に参照してください。表示してある校種(教科)の一種免許を専修免許に上進する際に必要単位として計上できます。

授業時間割は以下のとおりです。

- 第1時限 8:30~10:10
- 第2時限 10:20~12:00
- 第3時限 12:50~14:30
- 第4時限 14:50~16:20
- 第5時限 16:30~18:10
- 第6時限 18:20~20:00
- 第7時限 20:10~21:50

※科目によって、上記時間割以外の時間に行われることがあります。

整理番号	授業コード	開設プログラム	科目区分	授業科目	クラス番号	単位	担当教員	講義概要	開設		学期		曜日・時限		開講情報		免許法「大学が独自に設定する科目」 免許対応校種(教科等)	備考
									春期	秋期	1~5限	6~7限	講義室等	集中方式				
1	23000040	学校組織マネジメント	専攻必修科目	教員のための学校組織マネジメント	06	2	立田順一	学校が組織力の強い学校運営組織を形成し、効果的な学校経営を展開していくための学校マネジメントについて学ぶ。	○			集中			遠隔	○	(幼・小・中・高・養)	日程は別途指示
2	23000050	学校組織マネジメント	専攻必修科目	教員の社会的役割とキャリア形成	08	2	藤村裕子	教職生活で生じる身近な事象を通して、教育公務員としての職責や教員としての生き方を見つめ、主体的に課題を解決する力量を高める。	○			集中			遠隔	○	(幼・小・中・高・養)	日程は別途指示
3	23001110	学校組織マネジメント	高度選択科目	教育行財政の理論と実際	01	2	伊東哲 増田正弘 浅野あい子	教育行政財政や教育委員会制度、指導主事の機能等について、フィールドワークを含め多面的・多角的に考察していく。	○			金2			東7号館 (教職大学院棟) 講義室2		(幼・小・中・高・養)	
4	23001120	学校組織マネジメント	高度選択科目	多様性の尊重とこれからの学校づくり	01	2	伊東哲 増田正弘	講義やフィールドワークを通して個別の人権課題を解決する能力やスキルを修得する。学校教育で配慮すべき視点を含めた人権教育の全体指導計画を立案し、多様性を尊重した学校づくりを模索する。	○			木4			大学院アクティブ ラーニングスペース4		(幼・小・中・高・養)	
5	23001130	学校組織マネジメント	高度選択科目	学校危機管理の理論と実際	01	2	金子一彦	事例研究を通して、学校を取り巻く様々な危機への対応策やそれらを生み出さないための組織の在り方について学ぶ。		○			月6		東7号館 (教職大学院棟) 講義室2		(幼・小・中・高・養)	
6	23001140	学校組織マネジメント	高度選択科目	学校運営のための教育法規と学校法務	01	2	金子一彦	学校経営のための法的知識、解釈・運用能力、学校法務の実践的な実務能力を身につける。	○				月4		東7号館 (教職大学院棟) 講義室2		(幼・小・中・高・養)	
7	23001150	学校組織マネジメント	高度選択科目	学校評価を生かした学校づくり	01	2	福本みちよ	学校の現状分析の手法としての学校評価に関する知識理解を深め、組織的改善のための学校評価システムを構築する。			○	金2			東7号館 (教職大学院棟) 講義室3		(幼・小・中・高・養)	
8	23001180	学校組織マネジメント	高度選択科目	校内OJTの企画と運営	01	2	浅野あい子	効果的なOJTの在り方を追究するとともに、勤務校等の課題解決に向けた校内OJTを企画・立案・実践する。		○		木2			大学院アクティブ ラーニングスペース1		(幼・小・中・高・養)	
9	23001190	学校組織マネジメント	高度選択科目	学級経営の理論と実際	01	2	浅野あい子	学級経営の理論と方法論、集団指導の意義や学校経営とのつながり等、今後の学校経営の在り方について実践的に学ぶ。	○				木6		東7号館 (教職大学院棟) 講義室2		(幼・小・中・高・養)	
10	23000010	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	カリキュラムデザイン	01	2	赤羽寿夫	教科と領域等を結ぶカリキュラムデザインができる教師を育成するための基礎的な理論と方法を学ぶ	○				月3		東7号館 (教職大学院棟) 講義室1		(幼・小・中・高・養)	学マネ・総合教育実践用クラス
11	23000010	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	カリキュラムデザイン	02	2	赤羽寿夫	教科と領域等を結ぶカリキュラムデザインができる教師を育成するための基礎的な理論と方法を学ぶ	○				月2		東7号館 (教職大学院棟) 講義室3		(幼・小・中・高・養)	国語・社会用クラス
12	23000010	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	カリキュラムデザイン	03	2	原口るみ	教科と領域等を結ぶカリキュラムデザインができる教師を育成するための基礎的な理論と方法を学ぶ	○				月3		東7号館 (教職大学院棟) 講義室2		(幼・小・中・高・養)	数学・理科・保健・情報用クラス
13	23000010	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	カリキュラムデザイン	04	2	原口るみ	教科と領域等を結ぶカリキュラムデザインができる教師を育成するための基礎的な理論と方法を学ぶ	○				月2		大学院アクティブ ラーニングスペース4		(幼・小・中・高・養)	音楽・美術・書道・技術・家庭用クラス
14	23000010	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	カリキュラムデザイン	05	2	藤野智子	教科と領域等を結ぶカリキュラムデザインができる教師を育成するための基礎的な理論と方法を学ぶ	○				月3		大学院アクティブ ラーニングスペース3		(幼・小・中・高・養)	英語・幼児・養護・学校・国際・環境用クラス
15	23000010	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	カリキュラムデザイン	07	2	田村俊一	教科と領域等を結ぶカリキュラムデザインができる教師を育成するための基礎的な理論と方法を学ぶ	○			集中			遠隔	○	(幼・小・中・高・養)	長期履修者用 日程は別途指示
16	23000020	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	授業実践研究	02	2	渡辺貴裕	実践記録や授業検討会、教師の実践知、社会的構成主義の学習観、協同学習の技法などを切り口にして授業の問い直しとその方法について学ぶ。	○				月3		東7号館 (教職大学院棟) 講義室3		(幼・小・中・高・養)	国語・社会用クラス
17	23000020	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	授業実践研究	03	2	矢嶋昭雄	実践記録や授業検討会、教師の実践知、社会的構成主義の学習観、協同学習の技法などを切り口にして授業の問い直しとその方法について学ぶ。	○				月2		東7号館 (教職大学院棟) 講義室2		(幼・小・中・高・養)	数学・理科・保健・情報用クラス
18	23000020	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	授業実践研究	04	2	矢嶋昭雄	実践記録や授業検討会、教師の実践知、社会的構成主義の学習観、協同学習の技法などを切り口にして授業の問い直しとその方法について学ぶ。	○				月3		大学院アクティブ ラーニングスペース4		(幼・小・中・高・養)	音楽・美術・書道・技術・家庭用クラス
19	23000020	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	授業実践研究	05	2	齋藤嘉則	実践記録や授業検討会、教師の実践知、社会的構成主義の学習観、協同学習の技法などを切り口にして授業の問い直しとその方法について学ぶ。	○				月2		大学院アクティブ ラーニングスペース3		(幼・小・中・高・養)	英語・幼児・養護・学校・国際・環境用クラス
20	23000020	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	授業実践研究	06	2	堀田龍也	実践記録や授業検討会、教師の実践知、社会的構成主義の学習観、協同学習の技法などを切り口にして授業の問い直しとその方法について学ぶ。	○			集中			遠隔	○	(幼・小・中・高・養)	長期履修者用 日程は別途指示
21	23000030	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	子ども理解と支援	02	2	増田謙太郎 浅部航太 米本和弘	特別支援教育および生徒指導に関する理解を深め、実態把握や支援方法について学んだことに基づいて、一人ひとりの実態に応じた支援方法について検討する。			○	金2			大学院アクティブ ラーニングスペース1		(幼・小・中・高・養)	国語・社会用クラス
22	23000030	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	子ども理解と支援	03	2	増田謙太郎 浅部航太 米本和弘	特別支援教育および生徒指導に関する理解を深め、実態把握や支援方法について学んだことに基づいて、一人ひとりの実態に応じた支援方法について検討する。			○	金3			大学院アクティブ ラーニングスペース2		(幼・小・中・高・養)	数学・理科・保健・情報用クラス
23	23000030	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	子ども理解と支援	04	2	浅部航太 増田謙太郎 米本和弘	特別支援教育および生徒指導に関する理解を深め、実態把握や支援方法について学んだことに基づいて、一人ひとりの実態に応じた支援方法について検討する。			○	金2			大学院アクティブ ラーニングスペース3		(幼・小・中・高・養)	音楽・美術・書道・技術・家庭用クラス

令和6年度教職大学院科目等履修生出願可能科目表

令和6年2月6日修正点箇所を赤字

整理番号	授業コード	開設プログラムサブプログラム	科目区分	授業科目	クラス番号	単位	担当教員	講義概要	開設	学期	曜日・時限		開講情報		免許法「大学が独自に設定する科目」 免許対応校種(教科)等	備考
											1～5限	6～7限	講義室等	集中方式		
24	23000030	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	子ども理解と支援	05	2	浅部航太 増田謙太郎 米本和弘	特別支援教育および生徒指導に関する理解を深め、実態把握や支援方法について学んだことに基づいて、一人ひとりの実態に応じた支援方法について検討する。		○	金3		大学院アクティブ ラーニングスペース4		(幼・小・中・高・養)	英語・幼児・養護・学校・国際・環境用クラス
25	23000030	総合教育実践プログラム	専攻必修科目	子ども理解と支援	06	2	関田義博	特別支援教育を必要とする幼児・児童・生徒について多面的理解を深め、アセスメントや支援方法を学んだ上で、個別の指導計画や支援計画を作成する。		○	集中		遠隔		(幼・小・中・高・養)	長期履修者用 日程は別途指示
26	23002150	総合教育実践プログラム	高度選択科目	IB教育入門	01	2	赤羽寿夫 藤野智子 教員未定	IB教育全般についての理解を深め、IB教育実践に必要な基礎的スキルの習得を目的とする。		○	木1		東7号館 (教職大学院棟) 講義室1		(幼・小・中・高・養)	IB教員必修科目
27	23002200	総合教育実践プログラム	高度選択科目	道徳教育の理論と開発演習	01	2	浅部航太 齋藤嘉則	「特別の教科」である道徳科の活力ある授業構想の在り方を学び、模擬授業等を通して実践的指導力を養い、開発的な展望をもつ。		○		木6	遠隔		(小・中・高・養)	
28	23002220	総合教育実践プログラム	高度選択科目	人間形成と道徳教育の諸課題	01	2	浅部航太 齋藤嘉則	心の教育や人間形成の視点から、子供の現状、歴史的視点、諸外国の現状や多様な道徳指導理論に触れ、柔軟な発想力を養う。		○	木5		東7号館 (教職大学院棟) 講義室1		(小・中・高・養)	
29	23002260	総合教育実践プログラム	高度選択科目	子どもの経験と学習理論の探究	01	2	古屋恵太	現代教育学の基礎的原理に基づいて、現代の教育改革動向を支えている学習理論を考察する。		○	木2		大学院アクティブ ラーニングスペース3		(幼・小・中・高・養)	
30	23002270	総合教育実践プログラム	高度選択科目	授業成立の基礎技術	01	2	山田雅彦	主に演劇、演芸の領域で伝承される活動を用いて、基礎的な授業コミュニケーション力の向上を図る。		○		月6	東7号館 (教職大学院棟) 講義室2		(小・中・高・養)	
31	23002280	総合教育実践プログラム	高度選択科目	学習評価の理論と方法	01	2	梶井芳明	「発問」「板書」「教材」等に重点を置いた学習指導・評価を立案、改善する力を養う。		○	金2		大学院アクティブ ラーニングスペース4		(幼・小・中・高・養)	
32	23002290	総合教育実践プログラム	高度選択科目	子どもと教師がともに力を発揮してつくる授業	01	2	櫻井眞治	授業映像、授業記録、授業参観等を基にして、「子どもと教師がともに力を発揮してつくる授業」の様相と、それを支えているものについて考察する。		○	月4		大学院アクティブ ラーニングスペース1		(小・中・高・養)	
33	23002300	総合教育実践プログラム	高度選択科目	実験を通じた探究的な活動	01	2	宮内卓也	資質・能力がどのようなものであるか、学習指導要領と関連づけながら理解を深め、探究的な活動が多様な資質・能力の育成にあたって意義があることを考察を通して認識する。		○		水6	大学院アクティブ ラーニングスペース1		(小・中・高・養)	
34	23003110	教科領域プログラム・ 国語教育サブプログラム	高度選択科目	国語科の内容構成開発と実践A	01	2	大澤千恵子 湯浅佳子 宮本淳子 大井田義彰 千田洋幸 川上知里 伊藤かおり 長谷川真史	国語科教育の内容構成・教材開発に関し、国語学、国文学等の領域で、授業設計、模擬授業を通して、授業のデザイン力を高める。		○		木6	中央6号館2階 国語第2演習室		(小・中(国)・高(国))	
35	23003120	教科領域プログラム・ 国語教育サブプログラム	高度選択科目	国語科の内容構成開発と実践B	01	2	篠崎祐介 中村純子 斉藤昭子 疋田雅昭 宮本淳子 石村貴博 大澤千恵子	国語科教育の内容構成・教材開発に関し、国文学、国語学等の領域で、授業設計、模擬授業を通して、授業のデザイン力を高める。		○	木2		中央6号館2階 国語第2演習室		(小・中(国)・高(国))	
36	23003130	教科領域プログラム・ 国語教育サブプログラム	高度選択科目	国語科の内容構成開発と実践C	01	2	千田洋幸 篠崎祐介 中村和弘 疋田雅昭 長谷川真史 川上知里 伊藤かおり 斉藤昭子 湯浅佳子	国語科教育の内容構成・教材開発に関し、国文学、国語学、漢文学等の領域で、授業設計、模擬授業を通して、授業のデザイン力を高める。		○	水2		中央6号館2階 国語第2演習室		(小・中(国)・高(国))	
37	23003150	教科領域プログラム・ 国語教育サブプログラム	高度選択科目	国語科の高度研究開発法	01	2	中村純子 中村和弘 奥泉香	小・中・高校における国語科の全領域・日本語教育領域の研究論文の講読、執筆活動を通して、研究デザイン力を育成することを目指す。		○		水6	大学院アクティブ ラーニングスペース3		(小・中(国)・高(国))	
38	23003210	教科領域プログラム・ 社会科教育サブプログラム	プログラム科目	社会科授業の指導と評価	01	2	大澤克美 川崎誠司 日高智彦	教科としての社会科及び社会科教育学への基礎的な理解を図るとともに、今後の学校教育を見据えた教育課題とそれに基づく授業改善への取り組み方を理解する。特にその過程では、評価の充実を具現化する手立てと、最善の授業仮説としての授業計画づくりの手立てなどについて体験的に考察し、自らの取り組み方の見通しが持てるようになる。		○		水6	大学院アクティブ ラーニングスペース2		(小・中(社)・高(地歴・公民))	
39	23003330	教科領域プログラム・ 社会科教育サブプログラム	高度選択科目	社会科の高度研究開発法	01	2	大澤克美 田中比呂志	課題研究との関連を図りつつ、社会科教育実践における諸課題を検討し、個々に設定した課題への体験的な取り組みを通して、学術的な知見や必要な情報の入手と解釈、課題と研究方法の選択・設定など方法論の理解を深める。また、それに合わせて、研究の議論や評価、学術研究及び教育研究における倫理・人権問題に関わる意識を育む。		○	木4		大学院アクティブ ラーニングスペース4		(小・中(社)・高(地歴・公民))	
40	23003510	教科領域プログラム・ 数学教育サブプログラム	高度選択科目	算数・数学科タスクデザインA	01	2	清野 辰彦 西村 圭一 成田 慎之介 小岩 大	幾何及び代数分野における教材や評価に焦点をあて、教材開発および評価問題の開発の方法を学修するとともに、実際に開発を行う。		○	木2		中央1号館 数学教育実習室 S316		(小・中(数)・高(数))	原則として修士論文相当の学術論文を作成する者を対象としている。
41	23003520	教科領域プログラム・ 数学教育サブプログラム	高度選択科目	算数・数学科タスクデザインB	01	2	中村 光一 西村 圭一 成田 慎之介	解析及び確率・統計分野における教材や評価に焦点をあて、教材開発および評価問題の開発の方法を学修するとともに、実際に開発を行う。		○		木6	中央1号館 数学教育実習室 S316		(小・中(数)・高(数))	原則として修士論文相当の学術論文を作成する者を対象としている。
42	23003530	教科領域プログラム・ 数学教育サブプログラム	高度選択科目	算数・数学科高度研究開発法	01	2	西村圭一 成田慎之介 清野辰彦 竹内伸子 田中心 山本卓宏 宮地淳一 長瀬潤 相原琢磨 中村光一 山ノ内毅彦 溝口紀子 小岩 大 稲葉 寿 矢作由美 鈴木新太郎 嵐 晃一	算数・数学科における教育研究の方法について学修する。なお、修士論文相当の学術論文を作成するための科目であり、原則として修士論文相当の学術論文を作成する者を対象とする。		○		火6	中央1号館 数学教育実習室 S316		(小・中(数)・高(数))	原則として修士論文相当の学術論文を作成する者を対象としている。

令和6年度教職大学院科目等履修生出願可能科目表

令和6年2月6日修正点箇所を赤字

整理番号	授業コード	開設プログラム サブプログラム	科目区分	授業科目	クラス番号	単位	担当教員	講義概要	開設	学期	曜日・時限		開講情報		免許法「大学が独自に設定する科目」	備考
									春期	秋期	1～5限	6～7限	講義室等	集中方式	免許対応校種(教科)等	
43	23003540	教科領域プログラム・ 数学教育サブプログラム	高度選択科目	算数・数学科高度カリキュラム開発法	01	2	中村光一 西村圭一 成田慎之介 清野辰彦 小岩 大	算数・数学科におけるカリキュラム開発やカリキュラムマネジメントの方法について学修する。なお、修士論文相当の学術論文を作成するための科目であり、原則として修士論文相当の学術論文を作成する者を対象とする。	○			火7	中央1号館 数学教育実習室 S316		(小・中(数)・高(数))	原則として修士論文相当の学術論文を作成する者を対象としている。
44	23003550	教科領域プログラム・ 数学教育サブプログラム	高度選択科目	算数・数学科高度評価開発法	01	2	成田慎之介 西村圭一 清野辰彦 竹内伸子 田中心 山本卓宏 宮地淳一 長瀬潤 相原琢磨 中村光一 山ノ内毅彦 溝口紀子 小岩 大 稲葉 寿 矢作由美 鈴木新太郎 嵐 晃一	算数・数学科における評価問題の開発・設計の方法について学修する。修士論文相当の学術論文を作成するための科目であり、原則として修士論文相当の学術論文を作成する者を対象とする。	○			火6	中央1号館 数学教育実習室 S316		(小・中(数)・高(数))	原則として修士論文相当の学術論文を作成する者を対象としている。
45	23003710	教科領域プログラム・ 理科教育サブプログラム	高度選択科目	理科の内容構成開発と実践A	01	2	鎌田正裕 荒川悦雄 植松晴子 小林晋平 松本益明 國仙久雄 小坂知己 フクリ・W 前田優 山田道夫	小学校理科A区分、中学校理科第1分野及び高等学校理科物理・化学領域の内容と指導法の有機的連携を図る。	○			水6	中央1号館3階 理科第二実験室 (M307)		(小・中(理)・高(理))	
46	23003720	教科領域プログラム・ 理科教育サブプログラム	高度選択科目	理科の内容構成開発と実践B	01	2	西田尚央 狩野賢司 佐藤尚毅 高橋修 西浦慎悟 郡司 玄 永治方敬	小学校理科B区分、中学校理科第2分野及び高等学校理科生物・地学領域の内容と指導法の有機的連携を図る。	○			金6	中央1号館3階 理科第二実験室 (M307)		(小・中(理)・高(理))	
47	23003740	教科領域プログラム・ 理科教育サブプログラム	高度選択科目	理科教材開発論	01	2	松浦敏 中西史 小林晋平 松本益明 前田優 山田道夫 狩野賢司 郡司 玄 佐藤尚毅 高橋修	自然科学の最新の成果を踏まえつつ、小・中・高等学校理科教材の最適化について検討し、具体的な理科教材の改善、開発に参画する。	○			月6	中央1号館3階 理科第二実験室 (M307)		(小・中(理)・高(理))	
48	23003750	教科領域プログラム・ 理科教育サブプログラム	高度選択科目	サイエンスフロンティア特論	01	2	西田尚央 荒川悦雄 植松晴子 小林晋平 松本益明 國仙久雄 フクリ・W 小坂知己 前田優 山田道夫 狩野賢司 佐藤尚毅 高橋修 西浦慎悟 郡司 玄 永治方敬	小・中・高等学校理科の個別の学習内容について、それらと直接的関係の深い自然科学の領域の最新事情を概観する。	○			金6	大学院アクティブ ラーニングスペース 1		(小・中(理)・高(理))	
49	23004130	教科領域プログラム・ 美術・工芸教育サブプログラム	高度選択科目	美術・工芸科の高度研究開発法	01	2	西村德行 相田隆司 笠原広一 清家 颯	本授業は、美術・工作科における教育課題を追究するための基礎となる学術研究の成果について、最新の知見も踏まえて、教育課題に関する主題やテーマについて、具体的な課題を設定できるようにする。また課題に応じた適切な調査方法、研究法の選択、課題追究の在り方について、学校における教育実践に貢献する視点から研究開発法を学ぶ。受講者は美術・工芸科における教育実践に関する主題やテーマを追求するために、実践的な視点から研究開発法を学び、自らの課題に応じた適切な調査方法、研究法を選択することができる力を身につける。	○			月6	西5号館2階 美術科教育実習室		(小・中(美)・高(美・工芸))	
50	23004310	教科領域プログラム 書道教育サブプログラム	高度選択科目	書道科の内容構成開発と実践	01	2	草津祐介 城間圭太	書道教育に関する内容および方法に焦点を当て、歴史的文化的理解を深めながら書技法を習得し、教育目標に照らした再構築ができるか検討していく。	○			木6	西5号館2階 書道演習室		(高(書))	
51	23004320	教科領域プログラム 書道教育サブプログラム	高度選択科目	書写・書道における教材づくり	01	2	加藤泰弘 石井 健	国語科書写、芸術科書道に関する教育実践を参考にしながら、特に教材の作成法、実際の授業における活用法を考究する。	○		金1		西5号館2階 書道演習室		(小・中(国)・高(書))	
52	23004410	教科領域プログラム 保健体育教育サブプログラム	プログラム科目	保健体育科授業の指導と評価	01	2	鈴木秀人 佐見由紀子 田中 愛	保健体育科授業についての基礎的理解に基づき、その指導を評価の在り方について検討する。	○			月5	東3号館 保健体育演習室 (101)		(小・中(保体・保健)・高(保体・保健))	
53	23004420	教科領域プログラム 保健体育教育サブプログラム	プログラム科目	保健体育科の実践演習I	01	2	鈴木秀人 佐見由紀子 鈴木直樹 鈴木聡 佐藤善人 鈴木明哲 及川研 神戸周 繁田進 高橋宏文 仲宗根森教 田中 愛	保健体育科の授業づくりについて、諸科学の成果と実践をつなぐことを中心的課題とした演習を通して検討する。	○			木6	東3号館 保健体育演習室 (101)		(小・中(保体・保健)・高(保体・保健))	
54	23004430	教科領域プログラム 保健体育教育サブプログラム	プログラム科目	保健体育科の実践演習II	01	2	佐見由紀子 鈴木秀人 鈴木直樹 鈴木聡 佐藤善人 鈴木明哲 及川研 神戸周 繁田進 高橋宏文 仲宗根森教 田中 愛	保健体育科の授業づくりについて、諸科学の成果と実践をつなぐことを中心的課題とした演習を通して検討する。Iでの学修を踏まえ、さらに考察を深めていく。	○			木6	東3号館 保健体育演習室 (101)		(小・中(保体・保健)・高(保体・保健))	
55	23004510	教科領域プログラム 保健体育教育サブプログラム	高度選択科目	保健体育科の内容構成開発と実践A	01	2	鈴木秀人 繁田進 高橋宏文 佐見由紀子	保健体育科の教科内容と実践の関係を検討する。	○			月6	東3号館 保健体育演習室 (101)		(小・中(保体・保健)・高(保体・保健))	

令和6年度教職大学院科目等履修生出願可能科目表

令和6年2月6日修正点箇所を赤字

整理番号	授業コード	開設プログラムサブプログラム	科目区分	授業科目	クラス番号	単位	担当教員	講義概要	開設	学期	曜日・時間		開講情報		免許法「大学が独自に設定する科目」	備考
									春期	秋期	1～5限	6～7限	講義室等	集中方式	免許対応校種(教科)等	
56	23004520	教科領域プログラム 保健体育教育サブプログラム	高度選択科目	保健体育科の内容構成開発と実践B	01	2	鈴木秀人 仲宗根森教 神戸周 佐見由紀子	「保健体育科の内容構成開発と実践A」における学習をさらに発展させ、教科内容と実践の関係について検討する。		○		月6	東3号館 保健体育演習室 (101)		(小・中(保体・保健) ・高(保体・保健))	
57	23004530	教科領域プログラム 保健体育教育サブプログラム	高度選択科目	保健体育科の高度研究開発	01	2	鈴木秀人 鈴木明哲	関連する教育課題を取り上げた学術論文の購読から具体的な研究課題の設定や方法の選択等を取り上げる。		○		金6	東3号館 保健体育演習室 (101)		(小・中(保体・保健) ・高(保体・保健))	
58	23004540	教科領域プログラム 保健体育教育サブプログラム	高度選択科目	保健体育科における教材開発	01	2	鈴木聡 及川研	保健体育科の実践における教材開発について検討する。	○			金6	東3号館 保健体育演習室 (101)		(小・中(保体・保健) ・高(保体・保健))	
59	23004550	教科領域プログラム 保健体育教育サブプログラム	高度選択科目	保健体育科のカリキュラム論	01	2	佐藤善人 鈴木直樹 佐見由紀子	保健体育科のカリキュラムをめぐる諸問題について検討する。	○		木5	東3号館 保健体育演習室 (101)		(小・中(保体・保健) ・高(保体・保健))		
60	23004730	教科領域プログラム 技術教育サブプログラム	高度選択科目	ものづくり技術の内容構成開発と実践 I	01	2	大谷忠 藤井和人 望月高昭	本授業はものづくり教育の教材・教育内容に関する協働的検討、ものづくり教育実践の課題設定、教育実践計画の立案と模擬授業の実施等を行う。	○		木2	大学院アクティブ ラーニングスペース 2		(小・中・高)		
61	23004740	教科領域プログラム 技術教育サブプログラム	高度選択科目	ものづくり技術の内容構成開発と実践 II	01	2	大谷忠 江原遥	本授業はものづくり教育の教材・教育内容に関する協働的検討、ものづくり教育実践の課題設定、教育実践計画の立案と模擬授業の実施等を行う。	○		水3	大学院アクティブ ラーニングスペース 4		(小・中・高)		
62	23004760	教科領域プログラム 技術教育サブプログラム	高度選択科目	ものづくり技術の高度研究開発法	01	2	坂口謙一	本授業は、技術・職業教育学の立場から、主に、小・中・高の「ものづくり技術」に関する教育実践を対象とした研究の方法論を学ぶ。	○		木7	西5号館1階 技術教育授業ラボ ラトリー		(小・中・高)		
63	23004911	教科領域プログラム 家庭科教育サブプログラム	高度選択科目	家庭科の内容構成開発と実践A	01	2	倉持清美 萬羽郁子 田中敬文 塚崎 舞 星野亜由美	家庭科の授業を展開するうえで必要な高度な知識と技能を身につけることを目的とする。	○		金2	西3号館501 (児童学実験自習 室)		(小・中(家)・高(家))		
64	23004912	教科領域プログラム 家庭科教育サブプログラム	高度選択科目	家庭科の内容構成開発と実践B	01	2	倉持清美 塚崎 舞 星野亜由美 萬羽郁子	家庭科の実験・実習系の授業を展開するうえで必要な知識と技能を身につけることを目的とする。	○		集中	西3号館501 (児童学実験自習 室)	○	(小・中(家)・高(家))	10/12, 10/19, 10/26, 11/9, 11/16, 11/30	
65	23004920	教科領域プログラム 家庭科教育サブプログラム	高度選択科目	家庭科の高度研究開発法	01	2	渡瀬典子	家庭科の授業実践研究で用いられる主な研究方法として、授業観察調査、インタビュー調査、質問紙調査の手法について学ぶ。	○		木6	西3号館105 (家庭科教育学実 験実習室)		(小・中(家)・高(家))		
66	23004930	教科領域プログラム 家庭科教育サブプログラム	高度選択科目	家庭科における教材づくり	01	2	倉持清美 萬羽郁子 塚崎 舞 星野亜由美	生徒の発達段階に応じた家庭科の教材を作成する。その教材を使用した授業展開を考え、実際に模擬授業などで教材の効果について検討する。	○		水6	西3号館501 (児童学実験自習 室)		(小・中(家)・高(家))		
67	23005010	教科領域プログラム 英語教育サブプログラム	プログラム科目	英語科授業の指導と評価	01	2	粕谷恭子 馬場哲生	小・中・高における英語の指導や評価について最新の知見を得るとともに、授業実践への活かし方について討論・考察を行う。	○		月6	大学院アクティブ ラーニングスペース 1		(小・中(英)・高(英))		
68	23005020	教科領域プログラム 英語教育サブプログラム	プログラム科目	英語科の実践演習 I	01	2	粕谷恭子 阿部始子 馬場哲生	小学校における授業の映像の視聴、指導案の検討、模擬授業を行うことを通して、授業を適切に評価・改善する力を身に付ける。	○		月4	大学院アクティブ ラーニングスペース 3		(小・中(英)・高(英))		
69	23005030	教科領域プログラム 英語教育サブプログラム	プログラム科目	英語科の実践演習 II	01	2	馬場哲生 高山芳樹 粕谷恭子	中・高等学校における授業の映像の視聴、指導案の検討、模擬授業を行うことを通して、授業を適切に評価・改善する力を身に付ける。	○		木6	大学院アクティブ ラーニングスペース 2		(小・中(英)・高(英))		
70	23005110	教科領域プログラム 英語教育サブプログラム	高度選択科目	英語科の内容構成開発と実践A	01	2	白倉美里 鈴木 猛 阿戸昌彦 大田信良 齋木郁乃	小・中・高で扱う文法事項について、言語学の観点から最新の知見を、教育学の観点から様々な指導のアプローチを学び、模擬授業を行う。	○		水6	大学院アクティブ ラーニングスペース 4		(小・中(英)・高(英))		
71	23005120	教科領域プログラム 英語教育サブプログラム	高度選択科目	英語科の内容構成開発と実践B	01	2	粕谷恭子 大田信良 齋木郁乃 鈴木 猛 阿戸昌彦	各校種で扱う題材と連動する文学作品・映像作品を扱い、教材発掘、具体的指導法について検討し模擬授業を行う。	○		月6	大学院アクティブ ラーニングスペース 1		(小・中(英)・高(英))		
72	23005130	教科領域プログラム 英語教育サブプログラム	高度選択科目	英語科の高度研究開発法	01	2	馬場哲生 粕谷恭子	英語教育の研究法について概観したうえで、設定されたテーマについて研究デザインを考え、討議する。	○		木3	大学院アクティブ ラーニングスペース 1		(小・中(英)・高(英))		
73	23005140	教科領域プログラム 英語教育サブプログラム	高度選択科目	英語科の授業と教材・タスクA	01	2	高山芳樹 白倉美里	領域ごとに設定されたテーマに沿ったタスクの設定・教材開発を協働で行い、討議を重ね模擬授業を行う。	○		木5	大学院アクティブ ラーニングスペース 2		(小・中(英)・高(英))		
74	23005150	教科領域プログラム 英語教育サブプログラム	高度選択科目	英語科の授業と教材・タスクB	01	2	白倉美里 阿部始子	文献講読や講義によって第二言語習得研究の知見を得、発表や討議を通して、研究成果を指導実践に生かす方法について考察する。	○		水4	大学院アクティブ ラーニングスペース 3		(小・中(英)・高(英))		
75	23005210	教科領域プログラム 情報教育サブプログラム	プログラム科目	教科横断型情報教育とICT活用の授業の指導と評価	01	2	北澤武 今井慎一	本授業では、教科横断型情報教育とICT活用の授業の指導と評価を行うことができる能力を身に付けることを目的としている。教科横断型情報教育とICT活用の授業の指導と評価を行うことができる能力を身に付けるために、教科横断型の情報教育の授業実践事例を学び、評価の種類と方法を理解する授業である。	○		月6	中央1号館1階 情報演習室 (N106)		(小・中・高)		
76	23005220	教科領域プログラム 情報教育サブプログラム	プログラム科目	教科横断型情報教育とICT活用の授業の実践演習 I	01	2	今井慎一 北澤武	本授業では、教科横断型情報教育とICT活用の授業の実践演習を行うことができる能力を身に付けるために、その基礎的な知識を獲得するために、ICT機器の授業での活用方法について検証する演習形式の授業である。本授業において特に対象化する学校種は、小学校、中学校、高等学校(共通教科情報科・専門教科情報科)である。	○		火6	中央1号館1階 情報演習室 (N106)		(小・中・高)		
77	23005230	教科領域プログラム 情報教育サブプログラム	プログラム科目	教科横断型情報教育とICT活用の授業の実践演習 II	01	2	和田正人 今井慎一 北澤武	本授業では、教科横断型情報教育とICT活用の授業の実践研究を行うことができる能力を身に付けるために、その基礎的な知識を獲得するために、タブレット端末を利用したリアラーン教育と創造教育がどのような効果があるのかを検証していく演習形式の授業である。本授業において特に対象化する学校種は、小学校、中学校、高等学校(共通教科情報科・専門教科情報科)である。	○		火6	研究室		(小・中・高)		

令和6年度教職大学院科目等履修生出願可能科目表

令和6年2月6日修正点箇所を赤字

整理番号	授業コード	開設プログラム	科目区分	授業科目	クラス番号	単位	担当教員	講義概要	開設	学期	曜日・時限		開講情報		免許法「大学が独自に設定する科目」	備考
									春期	秋期	1～5限	6～7限	講義室等	集中方式		
78	23005310	教科領域プログラム 情報教育サブプログラム	高度選択科目	教科横断型情報教育とICT活用の授業の内容構成開発と実践	01	2	和田正人 今井慎一 北澤武	本授業では、情報教育について基本概念を学習し、教育現場での問題の把握と解決方法をアクティブラーニングによって検討する。さらに情報教育の授業実践活動とその評価を行なう。また、ICTを活用した授業の基本概念を学び、ICTを活用した授業の教育現場での問題の把握と解決方法をアクティブラーニングによって検討する。さらに世界でICTを活用した授業について検討を行ない、ICTを活用した授業の開発・実践・評価を行なう講義形式の授業である。本授業において特に対象化する学校種は、小学校、中学校、高等学校(共通教科情報科・専門教科情報科)である。	○			水6	研究室		(小・中・高)	
79	23005330	教科領域プログラム 情報教育サブプログラム	高度選択科目	教科横断型情報教育とICT活用における教材作りA	01	2	今井慎一 北澤武	本授業では、教科横断型情報教育とICT活用における教材をグループで制作できる能力を身に付けるために、ICT活用における教材の現状とその問題点を発見し、教材作りを通して設計・実施・評価・改善できることを目標とする講義形式の授業である。本授業において特に対象化する学校種は、小学校、中学校、高等学校(共通教科情報科・専門教科情報科)である。	○			木6	中央1号館1階 情報演習室 (N106)		(小・中・高)	
80	23005410	教科領域プログラム 幼児教育サブプログラム	プログラム科目	幼児教育の指導と評価	01	2	吉田伊津美 山崎寛恵	指導力向上のための方法及び幼児理解に基づく適切な評価の在り方を身に付ける。	○		金2		中央6号館3階 幼児教育演習室		(幼)	
81	23005420	教科領域プログラム 幼児教育サブプログラム	プログラム科目	幼児教育の実践演習 I	01	2	平野麻衣子 吉田伊津美	保育内容・指導法等に関し実践事例を検討し、教育実践上の課題と関連づけた保育の再構築を目指す	○			水6	中央6号館3階 幼児教育演習室		(幼)	
82	23005511	教科領域プログラム 幼児教育サブプログラム	高度選択科目	幼児教育の内容構成開発と実践	01	2	水崎誠	『幼稚園教育要項』の5領域の内容を熟考し、具体的な保育内容を構成開発して実践に生かすことができることを目指す	○			火6	中央6号館3階 幼児教育演習室		(幼)	
83	23005540	教科領域プログラム 幼児教育サブプログラム	高度選択科目	幼児音楽と教材研究	01	2	水崎誠	『幼稚園教育要項』の領域「表現」における内容を踏まえた教材について、音楽実践を通して研究する	○		月5		中央6号館3階 幼児教育演習室		(幼)	
84	23005550	教科領域プログラム 幼児教育サブプログラム	高度選択科目	運動遊びの環境と教材研究	01	2	吉田伊津美	運動遊びの意義の理解し、多様な動きを引き出すための発達に応じた教材の検討を模擬保育を通して行う	○			木6	中央6号館3階 幼児教育演習室		(幼)	
85	23005710	教科領域プログラム 養護教育サブプログラム	高度選択科目	学校保健の内容構成開発と実践A	01	2	竹鼻ゆかり 鈴木琴子	保健教育の課題と教師による指導について、理論と実践の往還を図りながら、課題解決をはかる。	○			月6	東1号館4階 養護学演習室		(中(保健) ・高(保健)・養)	
86	23005720	教科領域プログラム 養護教育サブプログラム	高度選択科目	学校保健の内容構成開発と実践B	01	2	鈴木琴子 荒川雅子	保健管理の課題と教師による指導について、理論と実践の往還を図りながら、課題解決をはかる。	○		月5		東1号館4階 養護学演習室		(中(保健) ・高(保健)・養)	
87	23005730	教科領域プログラム 養護教育サブプログラム	高度選択科目	学校保健の高度研究開発法	01	2	朝倉隆司 鈴木琴子	学校保健に関する最新の知見を学ぶとともに、課題解決のための研究法の選択、研究結果のまとめ方について理解する。	○		月5		東1号館4階 養護学演習室		(中(保健) ・高(保健)・養)	
88	23007130	教育プロジェクトプログラム 学校教育課題サブプログラム	高度選択科目	教育相談と教育臨床の理論と方法	01	2	小林玄 松山康成	児童生徒の問題行動と背景要因を考察し、教育相談の内容や方法について習得を深め、問題のアセスメントや面接の技量を身に付ける。	○			木6	大学院アクティブ ラーニングスペース3		(幼・小・中・高・養)	
89	23007140	教育プロジェクトプログラム 学校教育課題サブプログラム	高度選択科目	学校教育課題の研究開発法	01	2	腰越 滋	学校教育課題の種々の問題を研究対象として如何に分析するかを学ぶ。特にデータ解析法を重視し、エビデンスベースの問題対応力を涵養したい。	○		月5		大学院アクティブ ラーニングスペース3		(幼・小・中・高・養)	
90	23007610	教育プロジェクト 国際理解 外国人児童生徒教育 サブプログラム	プログラム科目	多様化する社会の学校教育	01	2	見世千賀子 米本和弘	人・物・情報の移動等により多様化する社会の学校教育の在り方について、帰国・外国人児童生徒等の文化間移動する子どもの成長発達、国際理解教育、多文化共生に関する諸理論をもとに多角的に検討する。さらに、学習指導要領および教育政策の新動向を押さえ、現状と課題を整理した上で、その解決のための実践的展開について議論する。	○			木6	大学院アクティブ ラーニングスペース3		(幼・小・中・高・養)	
91	23007720	教育プロジェクト 国際理解 外国人児童生徒教育 サブプログラム	高度選択科目	国際理解教育の内容と方法A	01	2	小山英恵 立田順一	国際理解教育の背景、及びその特徴的な内容と方法について学ぶ。また、学校教育で行われている実践事例について検討し、教育課程における国際理解教育の在り方について理解を深めていく。	○		月4		大学院アクティブ ラーニングスペース2		(幼・小・中・高・養)	
92	23007730	教育プロジェクト 国際理解 外国人児童生徒教育 サブプログラム	高度選択科目	国際理解教育の内容と方法B	01	2	見世千賀子 李修京	多様化する学校の国際理解教育で重視すべき概念である多文化共生、及び包摂性について、人権に関わる社会的事例や教育現場における市民性教育の実践事例などの分析・解釈を通して議論する。	○		木4		大学院アクティブ ラーニングスペース3		(幼・小・中・高・養)	
93	23007740	教育プロジェクト 国際理解 外国人児童生徒教育 サブプログラム	高度選択科目	外国人児童生徒教育A	01	2	米本和弘 齋藤ひろみ	外国人児童生徒教育に関する先行研究・実践研究などの文献講読、ディスカッション、フィールドワークなどをもち、言語的文化的に多様な子どもたちの学習・生活について、その環境とそれらの包摂に関わる社会課題・教育課題の解決の方法について批判的、創造的に検討し、理解を深める。	○		木2		大学院アクティブ ラーニングスペース1		(幼・小・中・高・養)	
94	23007750	教育プロジェクト 国際理解 外国人児童生徒教育 サブプログラム	高度選択科目	外国人児童生徒教育B	01	2	齋藤ひろみ 未定	外国人児童生徒教育Aの内容を踏まえつつ、外国人児童生徒教育に関し、「日本語教育」(教科と日本語の統合教育を含む)、「母語・母文化教育」「(文化間移動をする子どもの)キャリア教育」を取り上げる。その背景にある思想と方法論、また実践例などの検討と授業づくりなどの演習を通じ、省察的に実践し、教育環境をデザインする実践的な力を高める。	○		月4		大学院アクティブ ラーニングスペース4		(幼・小・中・高・養)	
92	23007410	教育プロジェクトプログラム 環境教育サブプログラム	プログラム科目	環境教育実践原論	01	2	未定	環境教育実践の基礎・基本・基盤について理解を図る。	○			木6	西7号館 (環境教育研究センター) 会議室		(小・中・高)	
93	23007510	教育プロジェクトプログラム 環境教育サブプログラム	高度選択科目	環境教育の内容構成開発と実践	01	2	小柳知代 吉富友恭	自然を対象にした環境教育実践プログラムを作成・実践・評価する。	○		水1		西7号館 (環境教育研究センター) 会議室		(小・中・高)	
94	23007520	教育プロジェクトプログラム 環境教育サブプログラム	高度選択科目	環境教育の高度研究開発法	01	2	松川誠一	質的研究法についての理解を深め、環境教育を中心とした教育実践研究における適用を試みる。	○		木3		中央9号館1階 109号室		(小・中・高)	
95	23007530	教育プロジェクトプログラム 環境教育サブプログラム	高度選択科目	環境教育のクロス・カリキュラム開発	01	2	松川誠一	クロス・カリキュラムの考え方をもちいた環境教育のカリキュラムの作成・評価を行う。	○		月6		中央9号館1階 109号室		(小・中・高)	

令和6年度教職大学院科目等履修生出願可能科目表

令和6年2月6日修正点箇所を赤字

整理番号	授業コード	開設プログラムサブプログラム	科目区分	授業科目	クラス番号	単位	担当教員	講義概要	開設		学期		曜日・時限		開講情報		免許法「大学が独自に設定する科目」 免許対応校種(教科)等	備考
									春期	秋期	1～5限	6～7限	講義室等	集中方式				
96	23007540	教育プロジェクトプログラム 環境教育サブプログラム	高度選択科目	環境教育における教材づくり	01	2	吉富友恭 小柳知代	環境教育の授業で活用できる教具や教材を企画・開発する。		○			月6	西7号館 (環境教育研究センター) 会議室		(小・中・高)		
97	23007550	教育プロジェクトプログラム 環境教育サブプログラム	高度選択科目	環境教育フィールドスタディ	01	2	未定 茜谷佳世子	座学とフィールドスタディを交えて環境教育実践に関する理解を深める。 「環境教育実践原論」を履修していること		○			木6	西7号館 (環境教育研究センター) 会議室		(小・中・高)	感染症をめぐる状況を注視しつつ、可能な場合には宿泊を伴うフィールドスタディを実施する予定。	